

志高く 未来を切り拓く 立中生

鍵山秀三郎氏はイエローハットの創業者で、「日本を美しくする会」の相談役として知られています。鍵山氏は、人間が生きていくうえで、もっとも大切なことは「志」を持つということだと言っています。「志」を人間の「欲望」と勘違いしている人がいますが、「志」と「欲望」は、まったく違うものです。本当の「志」とはどのようなものなのでしょうか。

「志」3つの条件

- ① 簡単に手が届かないもの
- ② 努力が自分のためだけでなく広く社会のためになる
- ③ 一度志を立てたらあきらめないこと

大切なことだと思います

更に「人間の3つの幸せ」についてこう語っています。

- ① してもらう幸せ
- ② できるようになった幸せ
- ③ してあげる幸せ

鍵山さんは ③の幸せを目指していこうと訴えています。

自立 貢献



鍵山秀三郎

あとからくる
君たちへ
伝えたいこと

致知出版

「よりよい人生を送るために大切なこと」は、「毎日少しでも、できるだけ、私が(行う)」「できない理由をいくら探しても、人間はよくならない」「本当の幸せは『何もない』ところから生まれる」など小さなことの積み重ねがいかに大切か、分かりやすい言葉と実例で説かれています。

= 「志」とは =

高い山のようにはるか彼方にあって、簡単に手にすることができないものでなければならないということです。

手を伸ばしても引き寄せることができない。つまり、高い「志」というものは簡単にはかなえられない。そういう大きくて遠くにあるものだという事です。

簡単に手が届かない志の



その「志」に向けて皆さんが努力した時、その努力が自分自身のためになるばかりでなく、社会のためにもなり、学校のためにもなり、国家のためにもなる。それだけではなしに、地球上に住むすべての人のためになる。このことが大事な条件です。個人の「欲望」というのは、自分のためにはなっても、社会のためにはならない。国家のためにもならないことが多いものです。ここが「志」と決定的に違うところです。自分一人だけのためになることは、「志」ではなく、単なる「欲望」だと思います。

努力が広く社会のためになる

「志」を自分で決めたら、寝ても醒めても忘れない。どんな困難が立ちはだかろうとも、絶対にあきらめない。石にしがみついても努力する。この心構えがなくてははいけません。

一度心にこうと決めたら、自分自身に対する自分の約束を守りぬく。さらに付け加えるとすれば、「志」に向かって行動していく過程で、人を感動させることができているかどうかということも大事な点です。

もう一つは、自らも感動しつつ、それを継続できているかどうかということです。

どうか皆さん、このことをいつまでも忘れないで、いつも思い出しながら生きていっていただきたいと思います。

あきらめない

強いチームと弱いチームの違い

- 1 強いチームは、アドバイスや今の状態を謙虚に受け止め、
弱いチームは、不満を口にし、言い訳する。
- 2 強いチームは、練習に集中しているため、黙々と取り組み、
弱いチームは、無駄話が多い。
- 3 強いチームは、自らやろうと思うため、見ていなくてもしっかりでき、
弱いチームは、見ていなければ手を抜く。
- 4 強いチームは、お互いに厳しく、勝つために強くなることを目的とし、
弱いチームは、仲よく楽しく練習することを目的とする。
- 5 強いチームは、生活態度がしっかりとしており、
弱いチームは、いい加減なところが多い。
- 6 強いチームは、何をやっても徹底しており、
弱いチームは、中途半端でミスが目立つ。
- 7 強いチームは、自信があるために自分たちのプレーに徹し、
弱いチームは、自信がないために、マイナスイメージでプレーをする。
- 8 強いチームは、全体練習後も自分の課題解消に真剣に取り組み、
弱いチームは、全体練習以外に何もしない。
- 9 強いチームは、すこしでも練習したいため、すべての行動が早く、
弱いチームは、行動が遅く時間を大切にしない。
- 10 強いチームは失敗を絶対に許さない空気があるが、
弱いチームは失敗をお互いに許す（傷をなめ合う）空気がある。

「奇跡は小さな努力の積み重ねにすぎない」

平成 27 年野球部の顧問をしていたときに、キャプテン（石澤隼人くん）が、新チームのミーティングの際、部員に示してくれた資料です。そして彼は「僕たちは、弱いチームに当てはまる要素が多すぎる！今から、これらを意識して活動に取り組み、改善していこう」と結んでいました。県大会出場にはなりませんが、地区総体では、奇跡のような試合展開でした。選手みんなが日々小さな努力を積み上げた結果だったと思っています。何もしていない人に「奇跡」は起きません。野球の活動に限らず、彼の生活は常に強いチームだったように思います。そして彼は今、医学部に進学し、医者道を歩んでいます。地区総体まで 3 週間となりました。君は「奇跡」を起こせるか。

MIRACLE